

平成27年度中小企業組合活性化情報

山梨県中小企業団体中央会機関誌

7月号

2015年
第674/279号
(毎月1日発行)

今月の見どころ

1面

●「ものづくり補助金」1次公募採択事業者が決定

2面

●中央会新役員の紹介・施策情報

3面

●景況情報・オピニオン

4面

●組合の活動を紹介

5面

●6次産業化事業者紹介
ものづくり事業者紹介

6面

●学生企業レポート

7面

●中央会女性部会通常総会
事務連絡協議会通常総会

8面

●中小企業の森整備事業
中央会事務局機構図

6月の出来事

●時事

1日…改正道路交通法施行、悪質な自転車の交通マナー取締り

5日…2014年出生率9年ぶり低下、出生数は減少加速

17日…改正公職選挙法が成立、18歳選挙権、来年参院選から

・年金情報流出問題

・韓国で感染拡大が続く、中東呼吸器症候群(MERS)コロナウイルス

●山梨県中央会ニュース

2日…中央会通常総会

4日…事務連絡協議会総会

16日…中央会正副会長会議

18日…中央会女性部会総会

20日…中小企業の森整備事業

7月の予定

13日…正副会長会議、総合政策委員会

28日…労務改善団体連合会総会

発行所 山梨県中小企業団体中央会

甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215・FAX (237)3216

http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

定価100円

昭和36年4月10日 第三種郵便物認可

会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

ものづくり・商業・サービス革新補助金

1次公募採択事業者34社が決定！

2次公募も受付開始！締切は8月5日

平成26年度補正予算による「ものづくり・商業・サービス革新補助金」の1次公募の採択発表が6月19日にあり、本県からは以下の34事業者が採択となった。また、全国では17,128件の応募があり、7,253件が採択された。

「ものづくり補助金事業」は中小・小規模事業者が新たなニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するための革新的な設備投資、サービス・試作品の開発のために設けられた補助金で、平成24年度の補正予算として開始され、現在3年目となっている。

全国的な予算規模は、平成26年度補正予算が約1,020億円、平成24年度からの3年間の合計で約3,500億円と、中小・小規模事業者の試作開発や設備投資を後押しする画期的な補助金として、非常に注目されている。

本県でも平成24年度には60事業者、平成25年度には58事業者が補助事業に取り組み、試作開発や新たなサービスの創出のために活用された補助金の総額は約10億

円(予定)となる。

1次公募は本年2月13日から5月8日までの期間で行われ、本県でも多数の応募があった。その後、外部有識者等により構成される地域採択審査委員会と全国採択審査委員会を経て、今回の採択事業者の決定に至った。今後、採択事業者は補助金交付申請と交付決定を経て、来年6月末までの期間で補助事業に取り組んでいくこととなっている。

また、2次公募が6月25日より受付開始、8月5日を締切として受付を行っている。詳細な事業内容等については、本紙2面の施策情報をご参照ください。また、不明な点等については、下記までお気軽にお問い合わせください。

●ものづくり・商業・サービス革新補助金 山梨県地域事務局
山梨県中小企業団体中央会 ものづくり支援センター TEL.050-6861-9988

平成26年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」 1次公募 採択案件一覧(山梨県)			(受付順)
申請者名称	事業計画名	認定支援機関名	
1 株式会社山梨技術工房	半導体画像センサー向け高精度、高スループット検査装置の開発	公益財団法人やまなし産業支援機構	
2 株式会社飯田製作所	統合車両姿勢安定制御システム駆動用モーターユニットの主要部品開発	都留信用組合	
3 株式会社石山	複合軽量断熱樹脂板の試作開発	株式会社経営ソフトリサーチ	
4 株式会社サン・フーズ	高級すもも品種である「貴陽」の高糖度と酸味を生かした本格的辛口ワインの開発	山梨中央銀行	
5 株式会社ツールデザイン	「EPSILON SGR-XⅢ」導入による生産性向上および事業領域拡大プロジェクト	東和銀行	
6 株式会社コアーズ	環境試験対応電子部品・基板形状測定装置の開発	公益財団法人やまなし産業支援機構	
7 株式会社鳴川	チルドドレッシング充填ラインの自動化による安定供給システムの構築	昭和信用金庫	
8 株式会社三幸	汎用射出成形機を用いた特殊インサート成形部品の成形技術開発	公益財団法人やまなし産業支援機構	
9 株式会社昭栄技研	省エネと環境負荷の低減化に対応した機械加工油回収装置の開発	都留信用組合	
10 Ogi.Labo	CAD/CAM機導入による革新的な生産プロセスの実現と技術力の飛躍的な向上	山梨中央銀行	
11 齋藤製罐株式会社	耐内容物性に優れたラミネート融着缶の製造体制構築	株式会社マイルストーン・コンサルティング・グループ	
12 株式会社平山ファインテクノ	穴明NC制御の精度向上及び回路形成技術の応用による高速信号伝送プリント基板の開発	公益財団法人やまなし産業支援機構	
13 株式会社押野電気製作所	光学製品用透明樹脂成形金型の金型面調整用プラスト装置導入	公益財団法人やまなし産業支援機構	
14 有限会社農業法人清里ジャム	国産スモールフルーツを活用した新飲料等の商品開発と販路拡大事業	山梨中央銀行	
15 本田歯科医院	歯科用CAD/CAM装置導入による、非金属口腔内用修復物及び補綴物歯科治療の提供	山梨中央銀行	
16 株式会社ドーベル	同時5軸制御対応CAD/CAMを導入し複雑形状かつ高品質なもののづくりを実現	公益財団法人やまなし産業支援機構	
17 株式会社マネージ・ソフト	スマートデバイスを活用した在庫管理支援システムの開発および移行ツールによる開発工数短縮	鳴島和昭税理士事務所	
18 株式会社立沢化成	立体造形(3Dプリンター)用フィラメント材料製造装置の開発	A-MEC株式会社	
19 株式会社ミラプロ	超伝導加速空洞の製造技術習得と自社一貫生産の実現-GNTを目指してー	山梨中央銀行	
20 新旭電子工業山梨株式会社	熱対策樹脂基板用全自動パターン検査機の全自動化の開発について	公益財団法人やまなし産業支援機構	
21 株式会社イチムラボディーショップ	近赤外線超高速塗装乾燥システムの導入による作業効率化と付加価値向上	山梨中央銀行	
22 シナプテック株式会社	市場投入型かつオーダーメイド型の専門的洗浄剤提供事業	上野会計事務所	
23 株式会社エー・ピー・エス	スイッチング回路不要!省エネルギー型LED電源と照明器具の開発	公益財団法人やまなし産業支援機構	
24 A-MEC株式会社	医療用を中心とした保冷剤応用商品の開発と事業化	中央市商工会	
25 株式会社アルス	医療現場のニーズに応えるレーザー加工技術を用いた超極細医療用カメラの試作開発	山梨中央銀行	
26 笛吹精工株式会社	「汎用プラスチックでスーパーエンブラ並みの品質を実現する精密射出成型技術の開発」	山梨信用金庫	
27 株式会社サンニチ印刷	『タイムParabooksの製造方法に関する技術研究開発』	山梨中央銀行	
28 株式会社Toshin	「国内外の仕様に対応した大型水道メーターの開発」	甲府信用金庫	
29 株式会社ケミックス	太陽光発電用移動式太陽電池モジュール測定設備(移動式PVラボ)の開発	横浜銀行	
30 株式会社シャローム	業界最速菌検査装置開発による超短期化化粧品製造プロセスの構築	公益財団法人やまなし産業支援機構	
31 OZ歯科口腔外科クリニック	歯科用CAD/CAM装置導入による非金属修復物を用いた治療の院内提供	山梨中央銀行	
32 株式会社ネクステック	フレキシブルデバイスの曲げ試験評価装置の試作開発	公益財団法人やまなし産業支援機構	
33 株式会社丸章ファーム	遠赤外線乾燥を用いた高付加価値の干し柿の生産の為に施設、機械整備	公益財団法人やまなし産業支援機構	
34 株式会社リコペル	微生物生育システムの制御によるトマト収穫後残渣の堆肥製造技術の開発	山梨中央銀行	

暑中お見舞い申し上げます

平素は、本会の事業運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

去る6月2日に開催されました第60回通常総会には、ご多忙の中、多数の会員の皆様にご出席をいただき、皆様のご協力のもと全ての議案審議が滞りなく可決・承認され、新年度のスタートを切れましたことに心より感謝申し上げます。

第8代会長として内藤悦次会長から託された中央会会長ですが、歴代会長が築かれてきた様々な成果や路線を継承しながら、会員組合と組合員企業の経営力アップのために、果敢なチャレンジを続けて行きますので、今後とも会員各位のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

さて本年度は、中央会の創立60周年の節目の年となります。

これまで様々な共同経済事業を通じて中小企業経営の成長と安定を支え、戦後の成長経済を牽引してきた中小企業組合制度ですが、近年の大きな経済環境の変化に中小企業が対応していくためには、新たな機動的で多様な中小企業連携も求められています。そこで中央会では、これまで取り組んできた中小企業の連携組

織の支援に加え、中小企業の経営の要である人材の確保と定着を図るための労働対策事業の充実強化、ものづくり中小企業の技術力強化のための試作開発事業に対する支援、6次産業化を活用した商工業者の事業の多角化支援など、新分野との連携強化や業種や業界の枠にとらわれない様々な中小企業支援を行う計画です。今後は、これまでも増して役職員一丸となってスピード感ある支援や事業に取り組んで行きます。

会員の皆様方におきましては、中小企業の経営力アップを支えていくための組合及び中央会の役割をご理解いただき、なお一層のご支援とご協力、またご活用をあらためてお願い申し上げます。

暑さ厳しい折ですが、皆様のますますのご活躍、ご健勝をご祈念申し上げ、暑中のご挨拶といたします。

山梨県中小企業団体中央会

会長 松 葉 惇

中央会新役員のご紹介

6月2日の通常総会において、役員改選が行われましたので新役員をご紹介します。

執行部の顔ぶれ



会長
松 葉 惇



副会長
細 田 幸 次



副会長
栗 山 直 樹



副会長
飯 室 元 邦



副会長
坂 本 政 彦



副会長
千 野 進



副会長
渡 辺 教 一



専務理事
中 込 雅

中小企業者・中小企業組合のための “ものづくり・商業・サービス革新補助金” 2次公募受付中です!!

平成26年度補正予算による「ものづくり・商業・サービス革新補助金」の2次公募を受け付けています。この事業は試作開発等を行う「ものづくり事業者」をはじめ、革新的なサービスの創出を目指す「商業・サービス事業者」、さらに、「中小企業組合等」を対象とした事業類型もあります。1次公募では本県にて34事業所が採択されました。この機会にぜひ、補助金の活用による新たな事業展開をご検討ください。

1.事業目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援します。

2.補助対象者

中小企業又は中小企業による共同体として、以下の要件のいずれかを満たすもの。

【革新的なサービスの創出】

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

【ものづくりの革新】

「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。

【共同した設備投資等による事業革新】

本事業に参画する事業実施企業により構成される組合等が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3～5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

※いずれの類型においても、どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画書の作成し、その実効性について認定支援機関により確認されていることが必要です。

3.補助対象経費

機械装置費、原材料費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、雑役務費、クラウド利用費

4.補助事業期間

交付決定日(平成27年9月下旬を予定)～平成28年9月15日まで ※最大約11ヶ月

5.補助金額

	一般型	コンパクト型
【革新的サービス】	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	・補助上限額：700万円 ・補助率：2/3 ・設備投資不可
【ものづくり技術】	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	
【共同設備投資】	・補助上限額：共同体で5,000万円(500万円/社) ・補助率：2/3 ・設備投資が必要	

※「設備投資」とは、専ら補助事業のために使用される機械・装置等であり、補助対象経費で単価50万円(税抜き)以上を計上することです。

※【共同設備投資】では、「機械装置費」以外の経費は、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めておりません。

6.公募締め切り

平成27年8月5日(水) ※電子申請でも受付可能。詳しくは「ミラサポ」をご確認下さい。

7.その他

詳細は、本会「ものづくり専用サイト」に掲載の「公募要領」をご確認下さい。
ものづくり専用サイト▶<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/mono>

お問い合わせ

ものづくり・商業・サービス革新補助金 山梨県地域事務局 山梨県中小企業団体中央会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1 山梨県中小企業会館4階 TEL:050-6861-9988 FAX:055-237-3216 e-mail:mono@chuokai-yamanashi.or.jp

▶ データから見た

業界の動き

平成27年
5月分

●情報連絡員からの景況報告の概要

5月の景況は、為替が一時1ドル124円台と約12年6ヶ月ぶりの安値となり、日経平均株価も27年ぶり10日連続で伸長するなど円安、株高の影響により大企業の業績は好調である。

また、外国人旅行者による消費も後押しとなり山梨県内の宿泊業や観光関連業界は景気の改善が見受けられた。

しかし、原材料の高騰、エネルギー高、技術者不足等による人件費の増額等、製造業や建設業を中心にコスト増が収益を圧迫している。

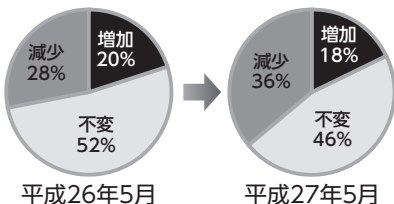
特に、建設業関連は公共工事の発注の遅れから景況感が悪化している。

今後、輸入原材料の高騰から生じる物価上昇への懸念と消費マインドの冷え込みが足かせとなり、体力のない中小・小規模企業は厳しい経営を強いられることが懸念される。



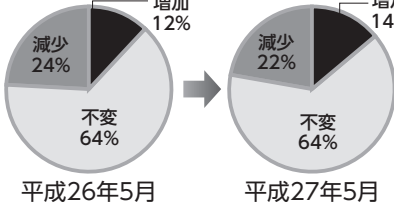
データから見た業界の動き(平成27年5月分)

▶ 売上高 (前年同月比)



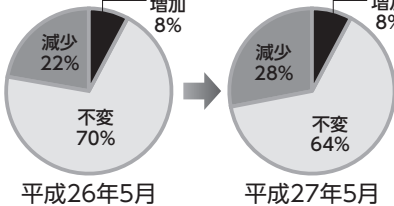
- DI値 ▲18(前年同月比▲10)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲30(前年同月比▲15)
 - 非製造業 ▲10(前年同月比▲7)
- 前月比DI値
 - 製造業 15ポイント悪化
 - 非製造業 7ポイント悪化

▶ 収益状況 (前年同月比)



- DI値 ▲8(前年同月比+4)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲25(前年同月比▲30)
 - 非製造業 +3(前年同月比+26)
- 前月比DI値
 - 製造業 10ポイント悪化
 - 非製造業 4ポイント悪化

▶ 景況感 (前年同月比)



- DI値 ▲20(前年同月比▲6)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲20(前年同月比±0)
 - 非製造業 ▲20(前年同月比▲10)
- 前月比DI値
 - 製造業 不変
 - 非製造業 13ポイント悪化

業界からの報告

■製造業

- 食料品(水産物加工)／ギフト関係は低調だが、ホテル、レストラン向けの生食材や新商品が好調だったため全体の売上は前年同月比105%。原料高が続いているが、値上げ効果もあり利益は改善傾向。
- 食料品(洋菓子製造)／自社製品の台湾輸出が好調だが、国内は値上げの影響により不振。そのため売上は前年同月比92%。利益面は、原料高が続いており値上げが追いつかず厳しい状況。
- 食料品(製麺)／売上は、ゴールデンウィークの反動減が今年は一段と大きい。
- 食料品(菓子)／原材料の輸入に依存する菓子業界にとっては、加速する円安は死活問題。
- 繊維・同製品(織物)／インテリアはホテル関連が好調。服地は、高級品は順調だが一般向けは厳しい。裏地は減少したまま横ばい。また、一部の海外ブランドと契約している国内アパレルメーカーの販売契約が切れたため、OEMで生産している業者は3月で受注が終了したこともあり厳しい状況が続いている。

- 繊維・同製品(アパレル)／暑さにより夏物が好調。
- 木材・木製品製造／売上、収益状況ともに良くない。
- 家具製造／円安による原材料等の高騰。
- 印刷／円安による資材の高騰が不安。
- 窯業・土石(砂利)／例年に比べ工事量が少ない。
- 窯業・土石(山砕石)／公共工事の発注の減少に伴い骨材出荷前年当月比81.6%と悪化。諸資材の高騰もあり利益確保が難しく、設備投資ができない。
- 鉄鋼・金属／景気は横ばいだが、円安により材料費が高騰。
- 電気機器／電機、鉄鋼、機械、各業界において物量の変動が激しく短納期及び安価なコストでの受注のため、人件費や原材料等の費用が割高となり物量が集中しても利益が出ない。
- 宝飾(貴金属)／業況は良くない。

■非製造業

- 卸売(紙製品)／販売単価、売上ともに上昇しているが、仕入競争による仕入値の値上がりのため収益性は不変。書籍の購読減による古紙への減少が顕著。
- 卸売(ジュエリー)／国内流通は悪化。一方、中国人バイヤーへの販売については好調だが、企業間格差が顕著。
- 小売(青果)／5月は天候に恵まれ野菜等の入荷量が増加し販売価格も値下がりしたため収益状況は改善傾向。
- 小売(食肉)／円安等の影響により仕入価格が上昇しているが、販売価格への転嫁が難しく収益は悪化。
- 小売(水産物)／円安による食料品の値上げが続いているため、消費者の買い控えが強まっている。
- 小売(石油)／円安だが原油価格も値下がりしているため、販売価格は横ばい。
- 商店街①／ゴールデンウィークは、県外からの来街者が多かった。3月のココリのリニューアルオープンにより若者の来街者数が増加傾向にある。
- 商店街②／仕入価格の上昇と消費税増税により利益薄となり厳しい環境になっている。
- 不動産取引／東京から物件買い取りの依頼が多い。

- 宿泊業(甲府)／売上増、稼働率増は、外国人観光客(特に中国人)の増加によるところが大きい。
- 宿泊業(石和)／外国人観光客(中国)の増加により業況は好調。
- 美容業／県外資本の安売りヘアースタイル店が増加傾向にあり業況は悪化。
- 警備業／公共工事の発注が遅れているため5月の売上は前月より更に落ち込んだ。
- 建設業(総合)／5月の県内公共工事動向によると、件数で14%、請負金額で42%減少。
- 建設業(型枠)／今年に入り仕事数が激減しており5月も低迷が続いている。
- 建設業(鉄構)／今年に入り仕事量は若干減少。仕事の中心は県外物件である。
- 設備工事(電気工事)／今年は、例年ほど見積もなく仕事の目途が立たない。
- 設備工事(管設備)／円安による原材料高などの経費の上昇や技術者の不足等による人件費の増加により販売価格が上昇傾向。
- 運輸(バス)／外国人旅行者の増加に伴い、東京都内でのバスの調達が困難なため山梨県までバスの確保をしてくる旅行会社が多く、稼働率が高まっている。
- その他(介護)／4月の介護法の改正に伴い例年から比べ売上が減少傾向。

オピニオン opinion

●株式会社印傳屋上原勇七 代表取締役社長 上原 重樹氏

甲州印傳の魅力を世界へ

甲州印傳は江戸時代に遠祖上原勇七(現在は十三代)が鹿革に漆付けする独自の技法を創案したことにより始まり、400年以上の歴史があります。

昭和62年に国指定の伝統的工芸品に指定、平成6年には山梨県郷土伝統工芸品に認定され、その技は日本の革工芸の文化を伝える担い手となり山梨の特産品として、確固たる地位を築いて来ました。

当社では、甲州印傳の製品アイテムとして名刺入れ・財布・ポーチなどの小物からカバンまで約400種の製品を販売しています。

伝統工芸品とはいえ、製品開発は常に時代のニーズにあった新製品を作り出すための工夫を重ねています。

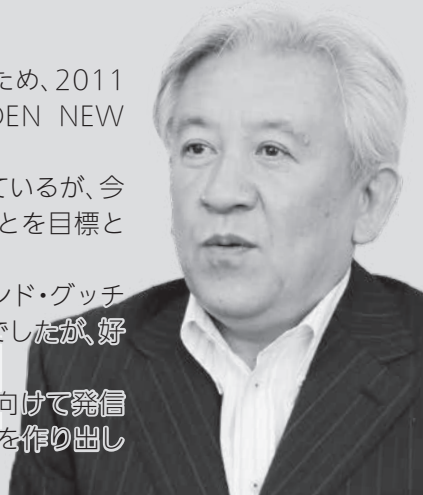
「印傳」の魅力を現代のライフスタイルに合う機能的で独創的な

「INDEN」として進化させ世界へ向けて発信していくため、2011年に印傳屋上原勇七のグローバルブランドとして「INDEN NEW YORK」を立ち上げました。

現在は、ニューヨークの特約店と契約し商品を卸しているが、今後は「INDEN」を世界に広げるために直営店を持つことを目標としています。

また、2014年には、甲州印傳とイタリアの高級ブランド・グッチとのコラボレーションを実現させ、数量限定での販売でしたが、好評を頂きすぐに完売となりました。

世界中で甲府にしかない甲州印傳の魅力を世界に向けて発信するために、これからも時代のニーズに合った新製品を作り出し新しい挑戦を続けて行きたいと考えています。



TOPICS

全国の印章小売業等で賑わう 第2回 地場産やまなし印章ワールドを開催

山梨県印判用品卸商工業協同組合(鈴木高明理事長)は6月6日(土)県地場産業センター「かいてらす」で、全国の印章小売業者等を対象とした展示販売・商談会「やまなし印章ワールド」を開催した。

このイベントは印章に係る山梨ブランドの形成や産地のイメージアップ、販路開拓等を目的に昨年6月に続く2回目の開催となった。今回は組合員各社が前回以上の良質な印章材料を豊富



印材の品定めする業者

に揃え、全国から来場する印章小売業者に納得してもらえるよう幅広い商品構成を目指した。また、新たな取り組みとして、一般来場者向けにはんこ彫り(篆刻)や今人気のある消しゴムはんこ作りの体験などのコーナーも設け、印章業界への興味を深めてもらえるような企画も行った。

当日は、東京からイベント会場までのシャトルバスも運行し、全国から約400人の印章小売業者や一般来場者が訪れ会場は賑わった。メイン会場では組合員企業を中心とした各種印材や印章ケースなど扱う卸売業約20社が出店、柘植や水牛、象牙などの印材をはじめとして、印章ケース、朱肉・スタンプ台、印鑑箱などの印章関連商品の展示・販売商談を行った。

また、別室に設けた一般来場者向けの「楽市」

山梨県印判用品卸商工業協同組合



消しゴムはんこ作りコーナー

コーナーでは、消しゴムはんこ作りの体験が行われた。小さな消しゴムへ刃物を使った細かい作業に四苦八苦している親子もいたが、インストラクターによる熱心な指導を受け、全員が楽しそうにはんこ作りを体験していた。その他、県内の伝統工芸士による甲州手彫印章の技術の優秀さと美しさを披露する実演もあり、来場者は熟練の技に見とれていた。

組合では、山梨印章のブランド力を高めるため、今後もイベントを継続していく予定。

TOPICS

一般社団法人中道農産物加工直売組合(風土記の丘農産物直売所)

2015風土記の丘「もろこしフェア」を開催

風土記の丘農産物直売所(一般社団法人中道農産物加工直売組合)では、6月14日に毎年恒例となっている「もろこしフェア」を開催した。昨年11月に「甲府市中道交流センター」の一部として規模を拡大してリニューアルオープンされてから初めての



開会前から受付は長い行列となった

開催となった今回のフェアでは、特産のとうもろこし「きみひめ」の試食と販売を中心に、焼きもろこしや夏季限定のもろこしアイスクリームの販売、もろこしの収穫体験など、盛りだくさんの催しが準備され、例年以上に多くの来場者が訪れ盛況となった。

中道特産のとうもろこし「きみひめ」は、とても甘く果皮が柔らかいため、生でも食べられることから人気も高い。この日も開会の1時間以上前から長い列ができ、用意された約2万本の「きみひめ」は午前中には完売となった。

組合では、今年の夏がリニューアルオープンされた直売所の初めての本格的な繁忙期となることから、品不足の解消、品揃えの充実などの想定される課題に取り組んでいくため、生産研究会の活動を通じて、農産物の計画的栽培を実現するための対策を検討するとともに、直売所のオリジナルブランド野

菜の取り組みも進めている。

また組合では、「甲府市中道交流センター」の指定管理者にもなったことから、甲府市における安全・安心・新鮮な農産物等の消費者への提供、生産と消費が一体化した産地づくりといった役割を果たすことが求められている。そこで、本年度より甲府市の野菜ソムリエプロジェクトと連携しながら、これまでのノウハウと地元農産物を活かした斬新な食べ方の提案を行うなど新しい消費者へのPRと集客策に取り組み、直売所への来店者へのサービス向上を目指していく。



TOPICS

ハウレンソウにより会社を伸ばす ～合同社員研修会を開催～



講師の加藤特定社会保険労務士

て学ぶ～コミュニケーションの基本に立ち戻って～」をテーマとした合同社員研修会を開催し、会員企業の社員106名が参加した。

研修会では、加藤先生から報告・連絡・相談(以下、ハウレンソウ)の基本・原則、管理職から見たホ

協同組合ハイコープ山梨地区本部(太田丈三地区本部長 組合員23社)は、6月12日に、加藤里美特定社会保険労務士(ファーストブレイン㈱)を講師に、「報・連・相について学ぶ～コミュニケーションの基本に立ち戻って～」をテーマとした合同社員研修会を開催し、会員企業の社員106名が参加した。

研修会では、加藤先生から報告・連絡・相談(以下、ハウレンソウ)の基本・原則、管理職から見たホ

ウレンソウ、情報伝達の方法について講習を受けた後、6名ずつのグループに分かれてのビジネスゲームを行い、同じ説明を受けても個人ごとに解釈・理解などに違いが出ることでハウレンソウの難しさと大切さを学んだ。

加藤先生は、「ハウレンソウのできる人になる、できる人を育てることは、チーム力アップにつながる。円滑なハウレンソウは、業務の効率化、品質向上を生み、生産性の向上につながるの、企業力アップのために是非継続的に取り組んでいただきたい。」と述べた。

太田本部長は、「企業活動の中でコミュニケーションは重要であり、報告・連絡・相談は基本であるが、日頃なかなかできていない。社員ひとりひとりが研修会で学んだことを振り返り、日々の行動改善の

協同組合ハイコープ山梨地区本部



グループワークでのディスカッション

きっかけにしていただければと思う。各社単独では行えない社員研修を組合事業として行うことで、会員企業の社員間の交流により新たな気づきや発想のヒントを生む場となることを期待している。」と会員企業の発展に期待を込めた。

チャレンジ! 6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者(1次産業)が地域にある農産物等を活用し、商工業者と連携して加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めることです。
このコーナーは、中央会が6次産業化サポートセンターとして支援している事業者の取り組みを紹介します。

次世代の農業の担い手を育成し、地域の農業振興を目指す

●農業生産法人 有限会社マルサフルーツ古屋農園 代表取締役 古屋 貞一氏



農業一筋50年!古屋貞一社長

6次産業化に取り組むこととなった経緯は?

マルサフルーツ古屋農園は、笛吹市一宮町で桃やぶどうを約50年栽培し、農業一筋!として農業生産に従事してきました。農家の減少や遊休農地の増加、自給率の低下に危機感を感じ、規模の拡大と従業員の雇用のために平成15年に農業生産法人を設立しました。そして、遊休農地を借り上げ耕作面積を拡大し、桃・ぶどう・柿・さつま芋など栽培品目の拡大に取り組むとともに、就農意欲のある若者や農業研修生を受け入れ次世代の農業の担い手の育成に積極的に取り組んできました。



食育イベント 桃のパフェづくり体験

それに並行して通年で雇用する者が増えたことから、農閑期の収入の安定と増加対策が必要となり、冬場の収入源として甲

州百目柿を利用したあんぽ柿・枯露柿の加工・販売と新商品開発及びカフェ併設の直売所(マルサマルシェ)を整備し、集客拡大に取り組むこととしました。

6次産業化への課題はなんでしたか?

柿の中でも名高い甲州百目柿のあんぽ柿は味も品質も良く、一つ一つが大きく見た目にも迫力があります。スーパーに営業をしたところ、多くの需要がありました。しかし、あんぽ柿づくりが手作業であったため、需要に対して供給量が追いつかないという課題が生じました。



甲州百目あんぽ柿

そこで、平成23年度に6次産業化総合化事業計画の認定を受け、平成24年度には県の農業ルネサンス総合支援事業により加工施設を整備し生産性と品質を向上させ、1個単位で販売していたあんぽ柿を箱で販売することが可能になりました。

また、既存の建物を改築し「マルサマルシェ」を直売

所として新設することで、スーパーや百貨店を通じて得意先になった従来の消費者だけでなく新規に立ち寄る観光客に対し、顔の見える生産者として安全と安心の提供及び新しい果物や野菜の食べ方の提案を行えるようになりました。

今後の展開は?

あんぽ柿・枯露柿に加え、新たに干し芋の生産にも取り組み始めました。今後は更なる冬場の収入安定・増加と耕作地の拡大により、一宮町地域の農業の振興、雇用の確保、若い世代の就農支援に、引き続き力を入れていきたいと考えています。また、直売所では、採れたての農産物や生産者の顔の見える商品の販売に加え、併設されたカフェで取り組んでいる農業体験や、収穫した農作物を用いた調理体験・食育活動を行いながら、農業と消費者をつなぎ地域全体を巻き込み一宮地域の活性化に貢献したいと考えています。

やまなし“ものづくり”最前線!

本格的な国産バルサミコ酢と 樽熟成ワインビネガーの研究開発

●アサヤ食品株式会社 代表取締役 杉山 弘子氏

アサヤ食品株式会社(杉山弘子代表取締役 山梨市万力)では、平成24年度ものづくり試作開発補助金を活用し、「長期樽熟成による国産バルサミコ酢とワインビネガーの商品研究開発」をテーマに取り組んだ。

戦後の食品業界は、栄養補給を目的とする時代から美味しさを追求する時代を経て、健康志向に移行し、近年では本物志向・地元志向に加えて文化的な側面を持つような変遷をたどってきた。その中で、調味料・ドレッシング市場は、価格競争だけでなく、顧客ニーズの多様化に対応しながら大手企業や輸入商品に対抗するための差別化を求められてきた。アサヤ食品のワインビネガー(ワインを原料とする酢・日本の酢は穀物を原料としている)と関連商品は、山梨県の特産品のぶどうを原材料に長年蓄積してきた製造技術によって一定のシェアは維持してきたものの、会社の発展には新たな戦略が必要となっていた。



打ち合わせを行う杉山社長と専門家

そこで、山梨県産ぶどうのみを用いることで山梨のイメージをグレードアップさせた商品アイテムとして、本格的なバルサミコ酢(ブドウの濃縮果汁を長期熟成してできる酢)を開発することと、現在生産しているワインビネガーを樽貯蔵させることで更にまろやかで上質な製品とするための試作に取り組んだ。

具体的には、山梨県産ぶどうで濃縮果汁を作成し、オーク、栗、桜

など素材の違う樽に充填してバルサミコ酢の新商品の試作を行った。また、市販されている国内外のバルサミコ酢の官能評価や化学分析を行うとともに知的財産権の調査も行い、各種バルサミコ酢の情報の蓄積とデータベース化に

成功した。並行して、高級樽熟成ワインビネガーの醸成のために、アサヤ食品で保存していたワインビネガーの品質を確認しながら樽貯蔵を行い、製品の熟成過程をチェックし製造工程に反映させることで大きな成果を上げることができた。

杉山社長は、「本事業で取り組んで出来上がる長期熟成のバルサミコ酢は、山梨県産のぶどうのみを使い添加物を使わない安心・安全・高品質な商品になった。またプレミアム性が高い樽熟成ワインビネガーは、よりこだわりの高いアッパークラスの消費者をターゲットとし、本物志向の方に強くアピールできるようになったことから、今後の当社の主力商品にしていきたい。

県の地域資源に認定されている県産ぶどうは、生食用だけでなく、ワイン・ジュース・ドライフルーツなどの加工品への商品展開も増え観光客集客のツールとして地域の活性化に繋がってきていることから、当社でも既存商品と共に山梨県産ぶどうによる本格的バルサミコ酢、樽熟成ワインビネガーをラインナップすることで、地域活性化に貢献したいと考えている。」と新商品への期待と将来に向けての抱負を語ってくれた。



補助金で購入した素材の異なる樽

中央会では、平成24年度より国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組む事業者を紹介します。

経営者に聞きました!

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接お話しを伺うことで、学生と企業の相互理解を進め、雇用のミスマッチ等の解消を目的としています。

学生企業レポート 第46回

▶第46回目となる今回は、専門学校サンテクノカレッジ コンピュータコミュニケーション学科 3年 細谷駿介さんが、山梨自然エネルギー発電 株式会社 代表取締役社長 大友 哲氏 を取材しました。



学生

専門学校サンテクノカレッジ
コンピュータコミュニケーション学科
3年 細谷駿介 さん

自然エネルギーの普及を目指す

山梨自然エネルギー発電 株式会社
代表取締役社長
大友 哲 氏

経営者



▶学生 会社概要や事業内容についてお教えてください。

▶経営者

私は市民活動として太陽光発電に取り組んできました。1992年に自家発電した電力の余剰分を売電できる制度ができたことを受け、自宅で太陽光による自家発電を始め、翌年には県内で初めて東京電力に売電をしました。その後「同じものを作って欲しい」という依頼が入るようになり、2006年に山梨自然エネルギー発電㈱を設立しました。

弊社は、主に太陽光発電装置の販売・設置工事を行っています。これまでの太陽光発電は金銭的に余裕のある人が太陽光パネルを設置して売電収入を得るという形で普及してきましたが、売電価格が下がっていることもあり、今後は市民の共同出資による自然エネルギー供給の事業が必要だと考え、様々な自然エネルギーの普及を目指して日々活動に励んでいます。

▶学生 御社が求める人材についてお聞かせください。

▶経営者

「自分で考え行動できる人」です。言われたことをやることは誰にでもできます。そこから何を学ぶか、どう考えるかが重要になります。

私は会社に入ってから最終目標は「社長だ」と考えています。組織の上を見て「社長になってやる」くらいの意気込み

や向上心のある人材を、弊社だけではなく社会全体が求めていると思います。

▶学生 学生時代に経験すべきことをお聞かせください。

▶経営者

とにかく色々な経験をしてみるのが大切です。私はアルバイト紹介所に登録し様々なアルバイトを体験してきました。自分の全く知らない仕事で得られたものがたくさんあります。実際、社長になってもアルバイトの時の経験が活かしていると度々実感します。単にお金のためではなく、「学ぶために働く」ということが将来役立つはずです。

▶学生 御社の強みと将来展望を教えてください。

▶経営者

弊社の強みは「地域に密着した体制」です。山梨県は環境が良く太陽光発電の関連企業が県外から多く参入しています。その中で県内に本社を置き太陽光発電装置の販

売・設置だけではなくサポートまで柔軟にできるのが弊社の強みです。

この業界が今後どうなるかは「電力自由化」が鍵を握っています。今まで国の制度の後押しを受けて普及してきた自然エネルギーですが、電力自由化により独り立ちをする時が刻々と迫っています。各家庭が電力会社を選ぶようになったときにどう他社と差別化していくかが「勝負」だと思います。

また、現在、主なエネルギーは石油や石炭、原子力などに頼っていますが、近い未来、私たちが消費するエネルギーのほとんどが自然エネルギーになっていると考えています。そのためには技術面の進歩はもちろん、様々な制度の改革が必要になってきます。そこで、私たちは様々なイベントに積極的に参加して自然エネルギー普及のPRや制度改革の必要性を世の中に発信する啓蒙活動をしています。また、長期的な展望としては農業にも取り組んでいきたいと思っています。



取材を終えて…

ここ数年、太陽光発電についての話題はTVなどでも大きく取り上げられていましたが、大友社長が20年以上も前から取り組んできたことにとても驚きました。就職に向けてのアドバイスもいただき、これまでより少し自信を持って就職に望める気がします。

これからの学生生活を常に向上心をもち挑戦していきたいと思っています。

学生企業レポート 第47回

▶第47回目となる今回は、専門学校サンテクノカレッジ コンピュータコミュニケーション学科 3年 橋本尚儒さんが、株式会社 エムクラフト 代表取締役 河野正人氏 を取材しました。



学生

専門学校サンテクノカレッジ
コンピュータコミュニケーション学科
3年 橋本 尚儒 さん

“強い志こそが、成長への力”

株式会社 エムクラフト
代表取締役
河野 正人 氏

経営者



▶学生 会社概要、事業内容について教えてください。

▶経営者

弊社は、1994年に甲府市内の宝石業者の下請け工場として3名でスタートを切りました。当初の約8年間は甲府市内の間屋さんとの取引がメインでしたが、その後方針を切り替え、県外のお客様との取引を広げ、現在は100%県外との取引となっています。

宝飾業界の多くの企業が一部の工程を外部委託する分業化をとっていますが、弊社の強みは、企画から原型、鋳造、磨き、石留め、メッキまでのすべての工程を自社工場内の一貫工程で行うことです。また各工程にスペシャリストがいるため、トラブルが発生した際には迅速な対応ができるノウハウがしっかりと確立されており、納期通りに良品を確実に仕上げる事が可能です。

▶学生 求める人材についてお聞かせください。

▶経営者

世間では高学歴な人が優秀だと考える面がありますが、それよりも大事なのは、どれだけしっかりした志を持っているかだと思います。自分が将来どんな社会人になりたいのか、どのような社会貢献ができるのかといったことに真剣に向き合っている人でなければなりません。鮮明でなくとも、自分がこの会社に入って何をしたいかという意志を強く持っていなければ、長く続けることができないと思います。

▶学生 高い志を持ち続けるためのコツをお聞かせください。

▶経営者

経験を積み重ねミッションをクリアできるようになることが一番だと思います。できなかったことができるようになることは、何歳になっても嬉しいことです。常に少し上を見つけて目標を達成するためにチャレンジを続けることが、強い意志の継続に繋がるのではないのでしょうか。

▶学生 これから就職活動をする学生へのアドバイスをお聞かせください。

▶経営者

学んで知識を身に付けることが大事です。学生時代にしっかりと学んで基礎を固めた上で強い意志を持つことが、将来的に成長していくための力になると思います。

社会にでると、他社との競争、社内での競争などがあります。その中でも一番重要なのは自分との闘いです。すぐに行動に移すか、どれだけ努力をするかを決めるのは、他の誰でもなく、自

分です。どんなこともできないと思わないで挑戦し自分との闘いに勝つことで、成長できます。とにかく色々なことを経験することが大切です。

▶学生 業界の現況及び将来展望についてお聞かせください。

▶経営者

ここ数年海外からの需要が高まっており、海外企業との競争になっています。弊社ではそれに対抗するため、日本人だからこそ出せる繊細な感性、製造ミスのない良品を出荷し信頼性を高めるとともに、企画から商品化までのスピード感、トラブルの対処やお客様へのアフターサービスでの差別化を図っています。出荷されるすべての商品に対して責任を持ち、品質や品位を保つこと。こうしたことがスタンダードになるように、業界の中でも先駆けて積極的に取り組みを行っていかうと考えています。

アジアの経済発展が更に進んでおり、いずれ日本製のファッションジュエリーの需要が高くなる時代が来ています。ジュエリー業界も新しい形で次の時代に入っていくと考えています。



取材を終えて…

自分の意志が一番大事であるとおっしゃった河野社長の強い言葉が響き、自分を見つめることが一番の成長に繋がるということに改めて気づかされました。これからの学生生活を、将来のための知識を蓄え様々なことに挑戦する中で自分の道を真剣に見つめるきっかけとなった大変貴重な体験でした。

●山梨県中小企業団体中央会女性部会

平成27年度通常総会 “新年度事業が決定”

～松葉会長から特別講演会でエール～

中央会女性部会(星ちえ子会長)は6月18日(木)に「中央会研修室」において、来賓に松葉惇会長、中込雅専務理事を招き平成27年度の通常総会を開催した。

星会長は、主催者あいさつとして、「中小企業組合及び中小企業経営に女性の力をさらに活用するため、今年度は会員の拡大、女性部会組織体制の見直し、会員間のビジネス交流の促進を柱として活動を行う」ことを述べた。



講演を行う松葉惇会長

通常総会では今年度の事業計画等が決定され、主な活動事業として、県内の女性経営者や経営者パートナー及び組合女性部等などが一堂に会する「女性部会県大会」の開催、全国レディース中央会事業への参加協力、組合女性部への研修支援、長野県女性部会との交流事業などが決定された。

また、新たに中央会女性部会の活動紹介や情報提供のためホームページを開設することも決定された。

通常総会終了後には、松葉惇会長による特別講演会を実施し、松葉会長からは、「中小企業経営に女性の力がより一層発揮できるよう、これまで以上に女性部会事業の充実と会員の拡大強化を図ってもらいたい。また、男性にはない女性の感性を生かしながら、中小企業組合のサポート役としての力をいかに発揮して欲しい」と激励の言葉も含めての講演が行われた。



主催者あいさつ
女性部会 星ちえ子会長



特別講演会の様子

●山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

平成27年度通常総会 “新会長のもとで新年度がスタート”

～事務局機能の強化による組合の活性化を目指して～

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会は6月4日、平成27年度通常総会を開催、平成26年度の事業報告・収支決算の承認、平成27年度事業計画・収支予算が原案通り可決決定されたほか、所属組合の退任に伴う理事4名の補充が行われた。

中央会の中込雅専務理事から「松葉新会長体制のもと、本年度中央会は会員発展のための種々の事業を計画する中で、組合の事業運営の「要」となる組合事務局の支援も積極的に展開していきたい。担当指導員を通じて組合の課題・問題など、数多く中央会に寄せていただき、より良い組合事業運営の実現をサポートしたい。」と来賓挨拶があった。

また、総会記念講演として、(株)商工組合中央金庫甲府支店住本佳史支店長を招き、「最近の経済情勢について」と題した講演会が開催され、全国的な経済情勢や経済の先を読んで対策に取り組む長寿企業の戦略などについて学んだ。

会の終わりには、今回退任する菅原五男会長(山梨県石油(協)専務理事)、古屋安清副会長(協)国母工業団地工業会専務理事)の永年にわたる協議会への貢献に対し、中央会より感謝状が贈呈された。

新会長・副会長及び理事は以下のとおり

会 長 坂本義博専務理事(山梨県食品工業団地(協))

副会長 小菅三郎専務理事(山梨県山砕石事業(協))、斉木重夫専務理事(山梨県自動車整備(商工))

理 事 菊島伸司事務局長(欽明事業(協))、三枝幹夫専務理事(山梨県トラックターミナル(協))、高根明雄専務理事(協)国母工業団地工業会)、常盤昇事務局長(山梨県絹人織物(工組))

坂本義博新会長より

当会では、会員組合等の事業・組織運営、会員事業者の経営向上などに役立つ情報提供や会員交流の各種事業を行っています。本年度は、今後の山梨県経済を占うエネルギー・物流・交通の分野の先進地視察や組合事務局役職員間の交流のための事業を計画しています。まだ加入されていない組合等事務局の方にも気軽に事業に参加いただけるよう、中央会の協力を得ながら事業を活発に展開していきます。



新会長に選任された
坂本義博氏

情報BOX

第35回山梨県障害者技能競技大会 アビリンピックやまなし2015を開催します。

出場選手および大会ボランティア団体 募集中!!

日 時 平成27年9月27日(日) 午前9時～午後4時

会 場 ポリテクセンター山梨(甲府市中小河原町403-1)

※一般来場(見学の方など)も大歓迎です。

大会詳細情報・参加申込 以下をご覧ください。

●山梨県HP

http://www.pref.yamanashi.jp/sangyo-jin/81_017.html

●独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山梨支部HP

<http://www3.jeed.or.jp/yamanashi/>

参加申込・問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

山梨支部高齢・障害者業務課

TEL:055-242-3723

〒400-0854 甲府市中小河原町403-1

労働局と県が中央会に 新卒採用枠等の拡大を要請

6月17日(水)能坂正徳山梨労働局長、上小澤始山梨県産業労働部次長、斉木邦彦山梨県教育庁高校教育課長が中央会を訪れ、松葉会長に対し来春の新規学校卒業予定者のための採用枠の拡大及び早期求人確保等について会員組合等への周知を要請した。

県内の雇用情勢は、4月末の有効求人倍率が0.98倍と上昇傾向にあるが、全国の有効求人倍率を大きく下回っており、厳しい状況が続いている。

このような中、今春卒業の大学生等の就職率は、昨年度を上回る状況で、改善の動きが見られたが、依然として就職が決まらないまま卒業せざるを得ない新規学卒者が出ている状況も見られる。

中小企業側にとっては、優秀な人材確保の好機と捉え、新規学卒者が一人でも多く採用できるよう、新規学卒者の採用枠の拡大及び早期求人確保について取り組んでいくことを求められた。

松葉会長は、「中央会の実施している就職説明会にも多くの中小企業が参加しているが、学生が面接や説明を受けに来てもらえない企業もある。県内景気回復は大都市圏ほどではなく、求職状況も大都市圏ほど高くない。にもかかわらず、求人側の中小企業と求職側の学生の間には情報のミスマッチがあるように思う。学生は名前を知っている企業を中心に就職活動を行う傾向にあると思うが、中央会では様々な機会や手段を捉えて、名前は知られていないけれども優良な中小企業もあることを周知していき、県内中小企業への優秀な人材定着に結びつけていきたい。」と話した。



要請を受け取る松葉会長

中小企業の環境保全の取り組み ～「中小企業の森」整備事業を実施～

山梨県中小企業団体中央会では6月20日(土)に山梨県森林公園・金川の森(どんぐりの森)で環境整備作業を行った。
この事業は、平成17年の創立50周年記念事業の一環として金川の森に「中小企業の森」として記念植樹を行い、それ以来、毎年下草刈り等の整備作業を続け、今回で11回目となった。



今年で11年目を向かた「中小企業の森」



参加者による「下草刈りの様子」

当日は好天にも恵まれ、組合関係者など160名以上の参加を頂き、笛吹市の倉嶋清次市長、山梨県森林環境部県有林課の金子景一課長をはじめ多くの来賓を招いた開会セレモニーの後、全員で下草刈りの作業を行った。

参加者は、11年が経過し大きく育ったクヌギやコナラなどの木々の成長に驚くとともに、熱心に除草作業を行った。

中央会では、木が育つことのできる環境を維持していく過程を中小企業の成長になぞらえ「中小企業の森」と名付け、毎年多くの組合関係者の協力により下草刈りや補植などの整備作業を続けてきた。来賓からは「植樹を行う組織や団体等が多いが、植えた木の成長を見守りながら下草刈りなどの環境整備まで取り組んでいる事例は少ない。これを10年以上にわたって続けている努力に敬服する。」と中央会の環境保全活動の評価もいただいた。

ご協力頂いた皆様方に感謝を申し上げ、来年以降も木の成長を見守り、整備作業にご協力を頂けますようお願いを申し上げます。



開会セレモニー「松葉会長あいさつ」

山梨県中小企業団体中央会 事務局組織・機構図 (平成27年7月1日)

●専務理事 中込 雅

●事務局長 知見寺好幸

総務課	連携組織課	地域開発課	労働対策課	業務管理課	ものづくり支援センター	郡内支所
●課長 三井 成志 ●課長補佐 臼田あけみ ●主事 神山 佳之	●課長 堀内 修 ●課長補佐 笠井 靖子 ●係長 窪田 学 ●(兼)主事 神山 佳之	●課長 古屋 浩昭 ●主事 鈴木 範行 ●嘱託 安部 梢 ●嘱託 向山 公夫	●課長 山本 良一 ●課長補佐 輿水 一篤 ●主任 齊藤 寛之 ●主事 千野 哲宏 ●嘱託 浅川かおり ●嘱託 芦澤記恵子 ●嘱託 伊藤 達美 ●嘱託 風間小百合 ●嘱託 窪田 一秋 ●嘱託 桜井 修 ●嘱託 杉山真理子 ●嘱託 西 純一郎 ●嘱託 日高あき子 ●嘱託 保延 勝 ●嘱託 米山 敦子 ●嘱託 山本 晃 (山梨県中小企業労務改善団体連合会)	●課長 古屋 孝明 ●(兼)課長補佐 臼田あけみ ●嘱託 深沢知佐都	●センター長 小佐野時雄 ●主事 仲澤 秀樹 ●嘱託 秋山 正博 ●嘱託 今村 正彦 ●嘱託 桐山 富久 ●嘱託 清水 栄司 ●嘱託 清水 晃一 ●嘱託 中村 一美 ●嘱託 村松和香子 ●嘱託 山田 昭宏	●支所長 保坂 淳

編集後記

早いものでもう7月、梅雨明け季節です。梅雨が明けますと連日暑い日が続きますが、夏バテしないよう体に気を付けて過ごしましょう。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで
TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



環境保全の期待を胸に
走れトラック
希望をのせて

平成26年度環境標語最優秀作品

（一社）山梨県トラック協会・（公社）全日本トラック協会・後援／山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨を支える企業とともに

「経営改善策定支援事業」を利用し、経営改善を行う方の
負担額の2分の1を補助します

●取扱例：経営改善費用150万の場合
国：100万円 保証協会：25万円 事業者負担額：25万円
※詳しくは下記までお問い合わせください。

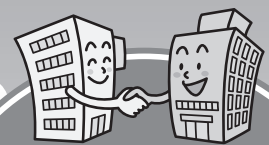
無料相談実施中

●当協会では、中小企業診断士・経営アドバイザーが
金融・経営に関する相談を受け付けております。
◆相談日 第1・第3木曜日(原則) ◆時間 16時～18時
◆場所 本店：甲府市飯田2-2-1 中小企業会館1階

事前予約制 下記までお気軽にご連絡ください。

山梨県信用保証協会

甲府本店 TEL 055-235-9700
0120-970-260
富士吉田支店 TEL 0555-22-0992



**企業間の
人材マッチングを
支援しています。**

経済・産業団体、ハローワーク等と連携し、
全国ネットを通じて、人材の確保、
従業員の再就職支援に
努めています。

全国ネットの人材情報

企業間の出向・移籍のお手伝いを47都道府県の事務所でしています。

確かな実績と信頼	幅広いデータベース	相談等の費用は無料
昭和62年に経済・産業 団体と国の協力で設立さ れた公益財団法人です。	ハローワークや経済団体 などと連携し豊富な人材 情報を提供しています。	情報の提供、相談、あっせ んについての費用はかか りません。

安心と信頼のネットワーク

公益財団法人 産業雇用安定センター 山梨事務所

インターネットで最新の人材情報をどうぞ

URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

山梨県甲府市丸の内2-14-13 ダイタビル2階 TEL.055-235-6236 FAX.055-235-6252